MAP-725A　AW87　2025年4月1日発行

TOSTEM ACアダプタ仕様 電動シャッター本体/ガイドレール 取付け説明書

●この説明書は、取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

⚠注 意…取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

⚠注 意

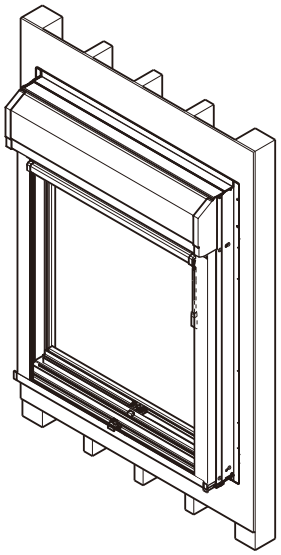
●製品脱落のおそれや漏水の原因となるため、下記事項をお守りください。
・必ず指定のねじを指定の本数使用し、固定してください。
・本体サイドカバーの引っ掛け部を必ず本体固定金具に掛けてください。
・ボックス引っ掛け部を天板の溝に差し込んでからねじで取付けてください。

●取付け作業は、手袋をして行ってください。素手で行うとケガをするおそれがあります。

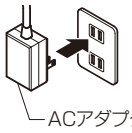
●漏電、感電や火災のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・電気配線で、あまった配線コードを本体内に戻さないでください。
・ACアダプタに水がかからない環境で使用してください。
・専用の配線コード、AC アダプタを使用して室内コンセントから給電してください。
・専用ハーネス、アダプタの改造は行わないでください。
・ACアダプタは0℃～40℃の環境で使用してください。

取付け前のお願い

●本体取付けフィンの固定の際、天板の水平が出ていることを水糸などで確認して行ってください。シャッター作動不良の原因となります。
●室内側配線をカバーするモールは、別途有償品もしくは、別途市販品をご使用ください。



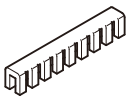
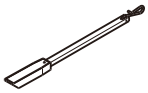
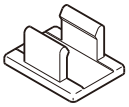
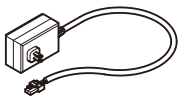
※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	サイドカバーの引っ掛け部を本体、固定金具に掛けましたか？	□
2	ACアダプタを使用して室内コンセントから給電しましたか？  ACアダプタ	□

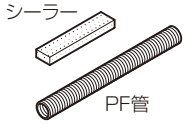
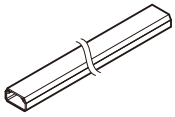
■取付け部品・ねじ一覧

本体取付け用	ガイドレール取付け用
㋑	㋺
バインド小ねじ M4×12（D8.3）	トラスタッピンねじ φ4×8（D9.4）
ボックス取付け用	
㋩（ボックスS型同梱仕様のみ）	
バインド小ねじ 先付けM4×10	

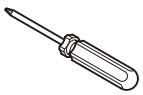
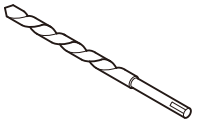
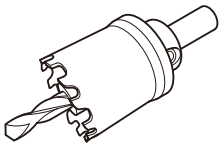
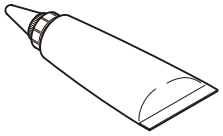
同梱部品

ブッシング	リモコン部品セット
	
操作ハンドル	操作ハンドルホルダー
	
表示シール	中継ハーネス（1m）
中継ハーネス（2m）	ACアダプタ
	

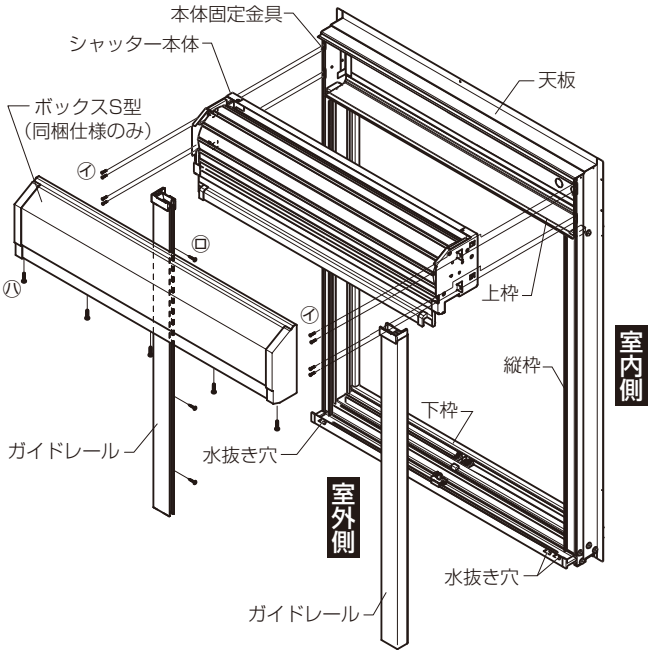
有償品（市販品でも可）

躯体内配線部品	プラモール
有償品ではシーラーとPF管は同梱です。  シーラー PF管	

■取付けに使用する工具一覧

電動ドライバー	ドライバー（手回し）	ドリル刃
 トルク調整付		 φ4など
ホールソー	穴埋めパテ	
		

●構成図



■目次

1配線穴の穴あけ……P.4
2シャッター本体の取付け……P.5
3ガイドレールの取付け……P.6
4シャッターボックスS型の取付け（同梱仕様のみ）……P.6
5操作ハンドルの取付け……P.7
6通電・全開／全閉位置の設定・作動確認……P.8
7スラットの横ズレの修正……P.8
8ロック位置の確認と調整方法……P.9
■施工後のお願い……P.9

取替シャッターの取外し手順
1シャッターボックスの取外し……P.10
2ガイドレールの取外し……P.11
3シャッター本体の取外し……P.12

推奨の外壁穴あけ方法……P.13

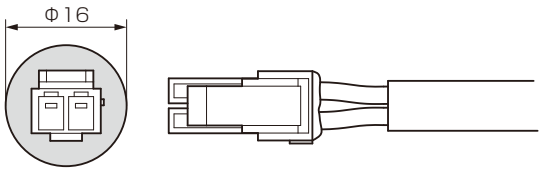
躯体内配線部品（有償品）を使用した場合……P.14

1配線穴の穴あけ

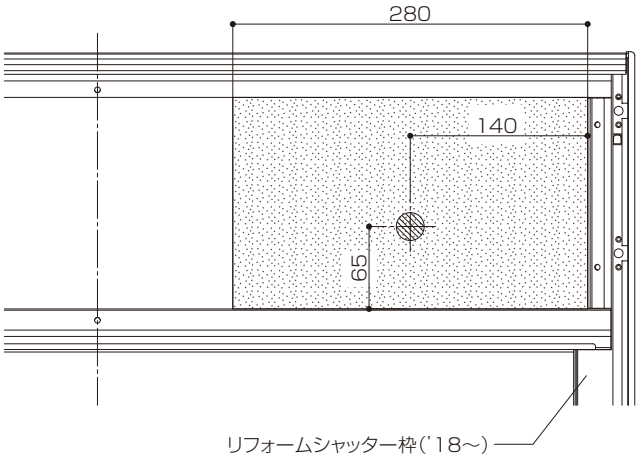
穴あけ作業前のお願い

- ●配線のための穴あけ作業は、外壁側だけではなく、室内側の位置も確認してから行ってください。
- ●穴あけは、シャッター取付け後の漏水、漏気に注意して行ってください。

①室内側の配線経路を確認します。
②下図の位置に室内側まで貫通する穴をあけます。(P.13)
※電源線のコネクタが通る径の穴をあけてください。
（推奨16mm以上）



※室内側の障害物などの影響で、どうしても▨の位置に穴をあけられない場合は、⬚の位置にあけてください。
※取替シャッターの場合は、シャッター本体・ガイドレールを取外してから行ってください(P.10)
※取替シャッターの場合は、背板の穴(外観右)に合わせて穴をあけてください。背板に穴があいていない場合は、外観右側の配線位置の半パンチを抜いて穴をあけてください。



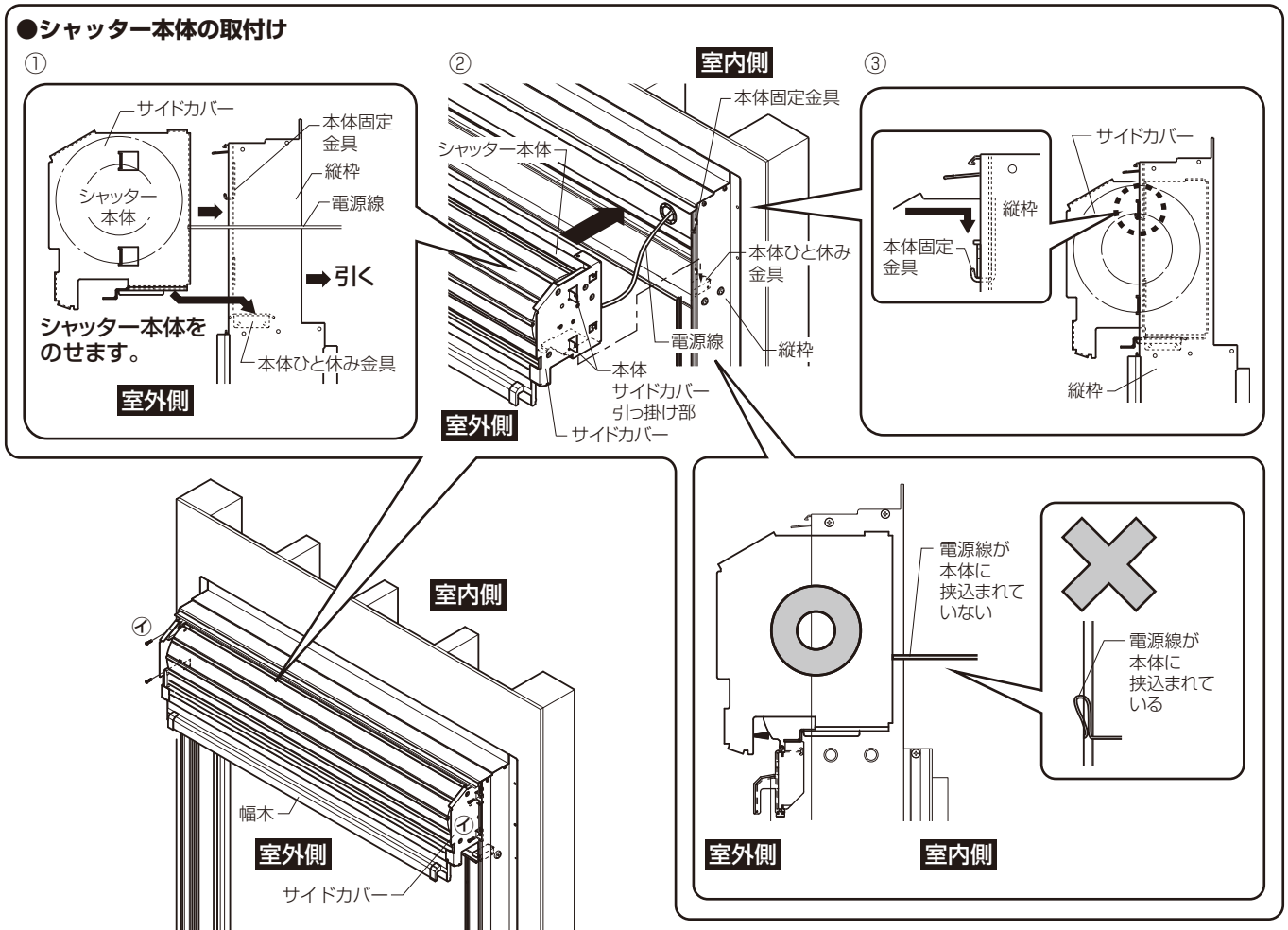
2シャッター本体の取付け

⚠注　意

●取付け作業は、手袋をして行ってください。素手で行うとケガをするおそれがあります。

●製品脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 必ず指定のねじを指定の本数使用し、固定してください。
- 本体サイドカバーの引っ掛け部を必ず本体固定金具に掛けてください。

①コネクタのついた電源線を配線穴から室内側へ通し、シャッター本体を縦枠の本体ひと休み金具の上にのせます。
②電源線が本体と背板の間に挟込まれないように注意しながら、本体サイドカバーの引っ掛け部が本体固定金具にあたるまで押込んでください。
③本体が本体固定金具に掛かっていることを確認して、㋑バインド小ねじでねじ止めします。



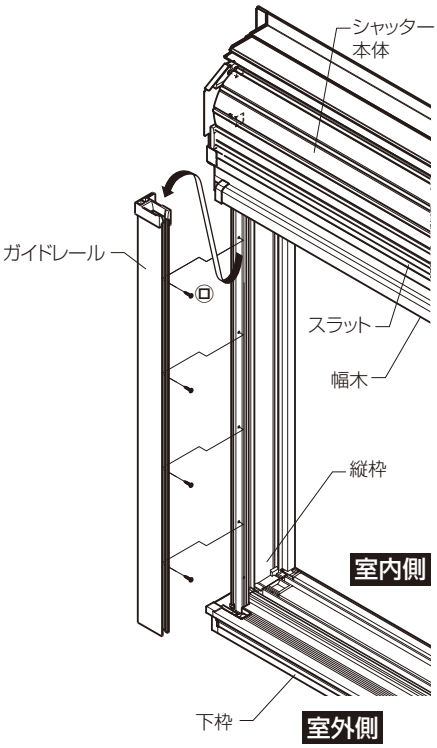
3ガイドレールの取付け

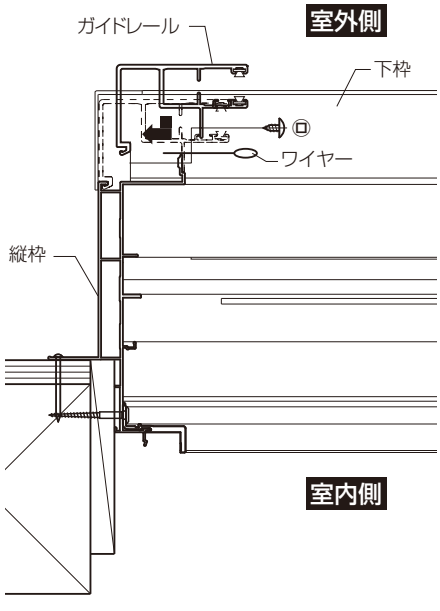
ガイドレール取付け上のお願い

- ●クラッチのワイヤーをガイドレールの外側に出してガイドレールをはめ込んでください。
- ●ねじ山がつぶれる場合がありますので、インパクトドライバーなどは使用しないでください。

①ガイドレールの上端（ガイドピース側）に幅木を引込み、そのままガイドレールの上端を本体内へ挿入し、ガイドレールの下端を下枠に挿入します。

②ガイドレールをスライドさせ、縦枠にはめ込み、㋺トラスタッピンねじで固定します。





4シャッターボックスS型の取付け（同梱仕様のみ）

⚠注　意

●製品脱落のおそれや漏水の原因となるため、下記事項をお守りください。

・必ず指定のねじを指定の本数使用し、固定してください。

・ボックス引っ掛け部を天板の溝に差し込んでからねじで取付けてください。

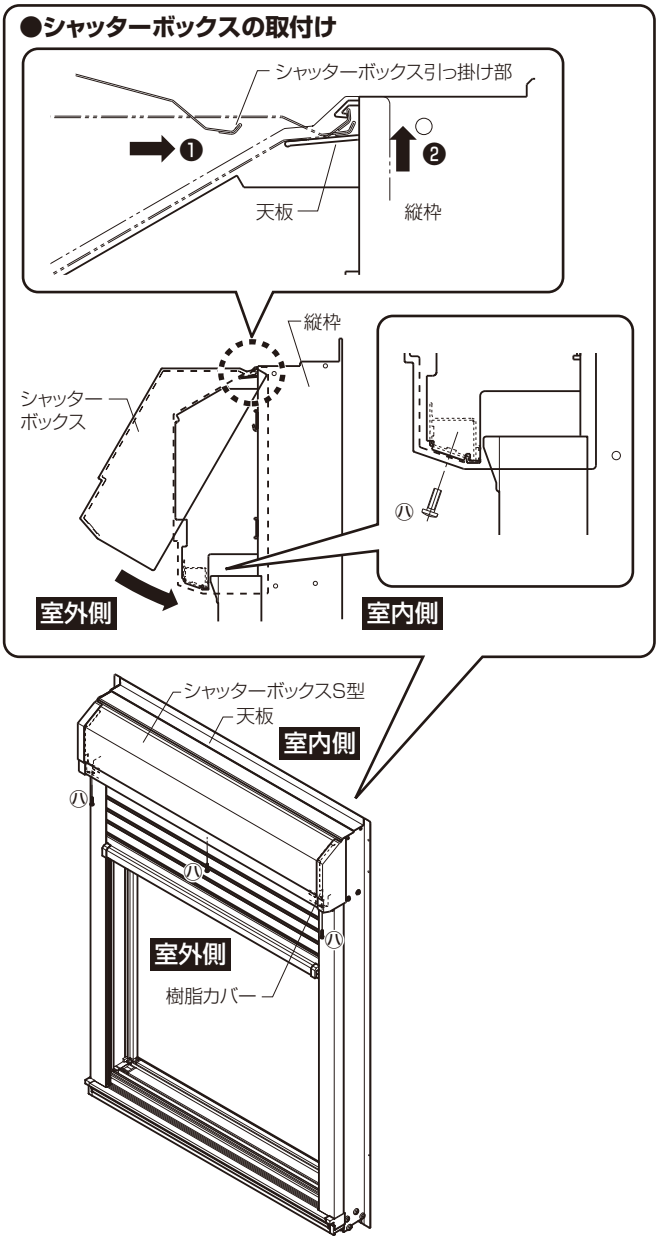
ボックス取付け上のお願い

- ●S型以外のボックスの取付けについては、「ボックス 取付け説明書」をご覧ください。

①シャッターボックス引っ掛け部を天板の溝にもぐりこませ、回転させるように取付けます。

②シャッターボックスの下側から本体へ㋑バインド小ねじで止めます。

●シャッターボックスの取付け

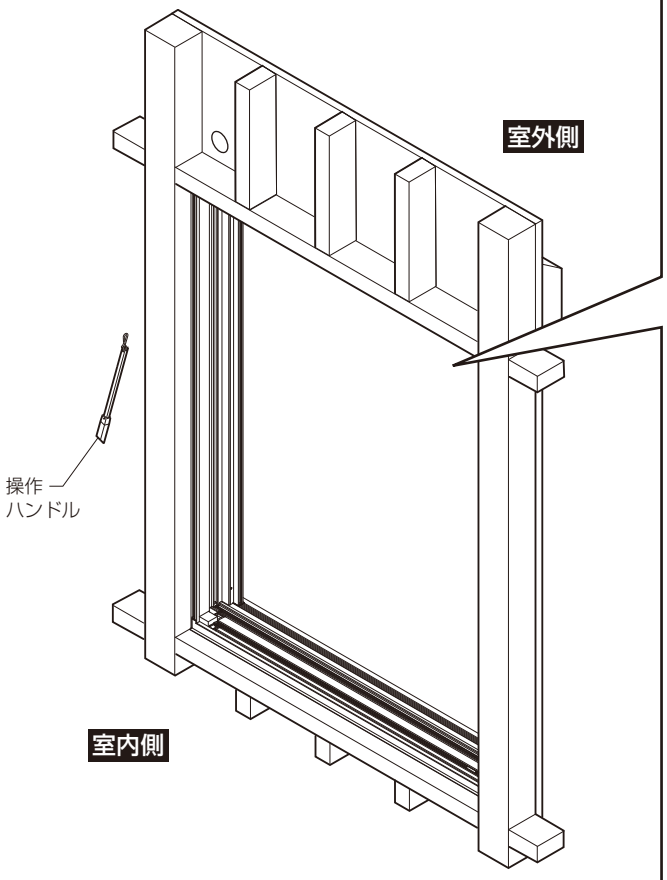


5操作ハンドルの取付け

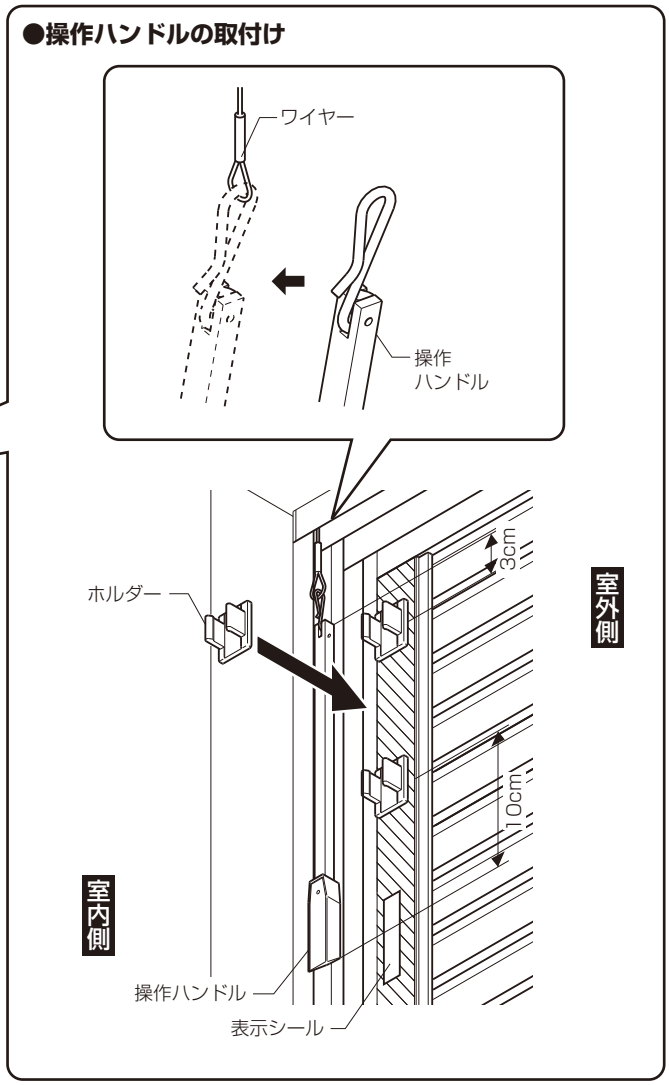
操作ハンドル取付け上のお願い

●操作ハンドルは、必ず下図の向きでホルダーに固定しておいてください。(操作ハンドルが引っ掛かり、シャッター開閉不良の原因となることがあります。)

①ガイドレール上部からぶら下がっているワイヤーに操作ハンドルを引っ掛けます。
※このときワイヤーを引っ張らないでください。停電時開閉機構が働き、シャッターが電動で動かなくなります。
②ホルダー張付け面（下図斜線部）のホコリ・油分をふき取ります。
③操作ハンドル上端から 3cm および下端から 10cm の位置に、ホルダーを張付けます。
④操作ハンドルをホルダーに固定し、同封の表示シールを真下に張ります。



●操作ハンドルの取付け

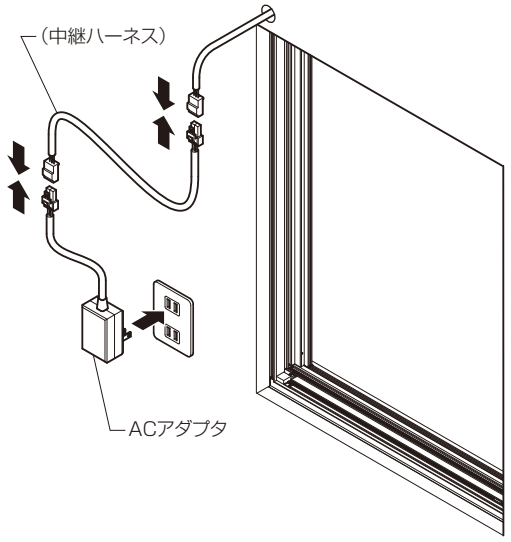


6通電・全開／全閉位置の設定・作動確認

設定・作動確認上のお願い

●専用ハーネスの長さは本体から10m以内としてください。届かない場合はコンセント側を延長してください。
●通電後、必ず設定を完了させてください。

①電源線のコネクタに中継ハーネス、ACアダプタを接続し、ACアダプタを室内コンセントに挿入して通電させます。
②設定、作動確認を行います。
※シャッター本体から出ている電源線のコネクタに直接ACアダプタを接続する場合には、同梱の中継ハーネス(1m、2m)は使用しません。
※中継ハーネス1mと2mは有償品も含め、どのように組み合わせても構いません。
※設定・作動確認方法は、リモコンに同梱の説明書を確認してください。
※設定を行ったリモコンが使えるシャッターがわかるように、リモコンの梱包袋にシャッター設置個所を記載して、リモコンを引き渡してください。
③設定完了後にリモコンを操作して、シャッターを開閉させます。引っ掛かりなど支障がないよう、スラットの横ズレの修正を行ってください。

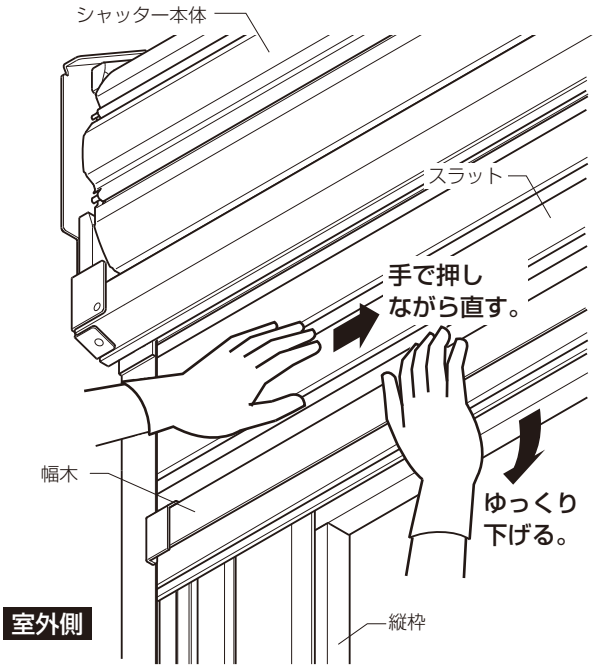


7スラットの横ズレの修正

⚠注　意

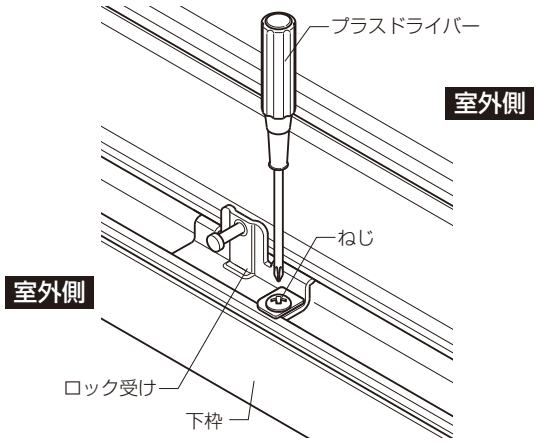
●取付け作業は、手袋をして行ってください。素手で行うとケガをするおそれがあります。

①横ズレがある場合は、横ズレ個所が見える所までスラットを下げて止めます。
②スラットを手で押しながら直してください。
※ガイドレール・本体にスラットが引っ掛からないようにしてください。



8ロック位置の確認と調整方法

※商品によってはロックがつかない場合があります。
※ロックの掛かりを確認してください。
①2、3回ロックの施・解錠をくり返し、掛かりと作動を確認します。
②ロックの掛かりが悪い場合は、下枠に付いているロック受けのねじをゆるめてスライドさせ、ねじを締め直します。



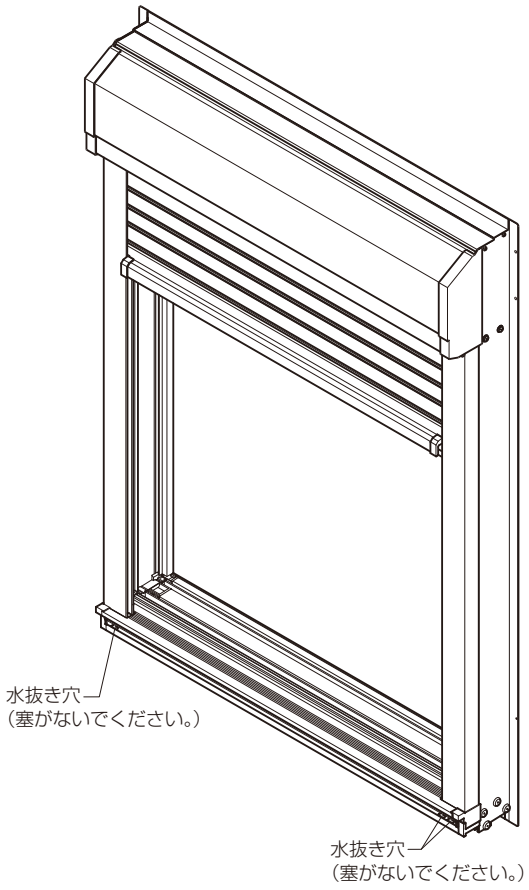
■施行後のお願い

⚠注　意

●下枠・縦枠下部の水抜き穴を塞がないでください。製品の漏水の原因となります。

施工後のお願い

●メンテナンスを行うため、下記事項をお守りください。
・軒天点検口を設けてください。
・ボックス(点検口)・ガイドレールを取外せる構造にしてください。
●壁仕上げの際、製品を傷めますので、下記事項をお守りください。
・製品にモルタルを付着させないでください。
・モルタル剥離剤を使用しないでください。

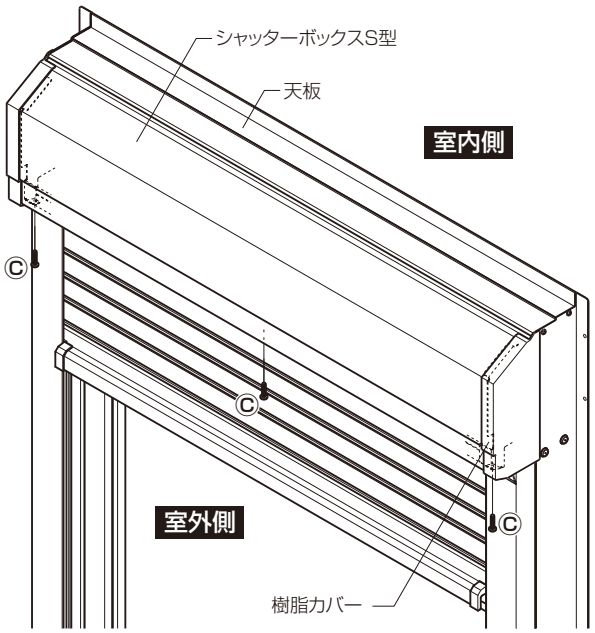


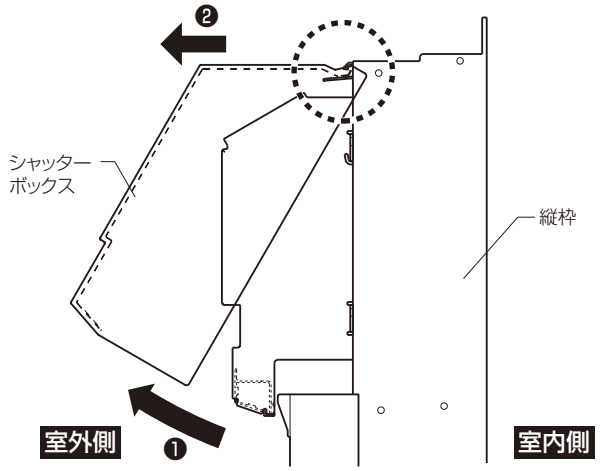
取替シャッターの取外し手順

1シャッターボックスの取外し

●S型の場合

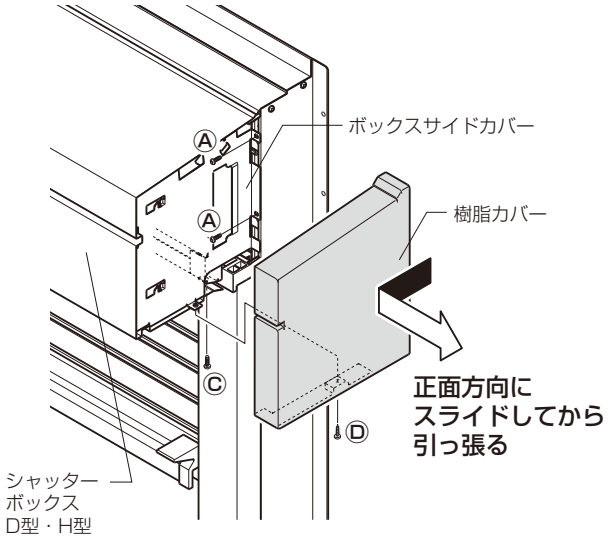
①Ⓒバインド小ねじをすべて外します。
②天板のシャッターボックス引っ掛け部を支点にしてシャッターボックスを回転させます。
③シャッターボックス引っ掛け部を室外側正面方向にスライドさせ、天板から引き抜きます。





●D型・H型の場合

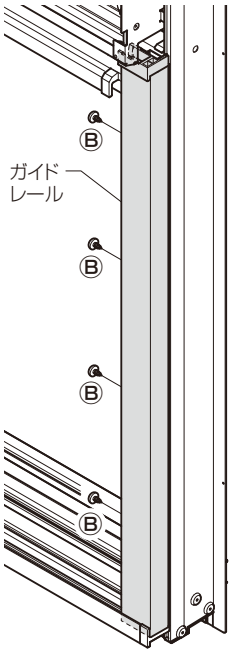
①樹脂カバーに付いているⒹバインドタッピンねじを外します。
②樹脂カバーをスライドさせて外します。
③ⒶⒸバインド小ねじを外します。
④天板のシャッターボックス引っ掛け部を支点にしてシャッターボックスを回転させます。
⑤シャッターボックス引っ掛け部を室外側正面方向にスライドさせ、天板から引き抜きます。



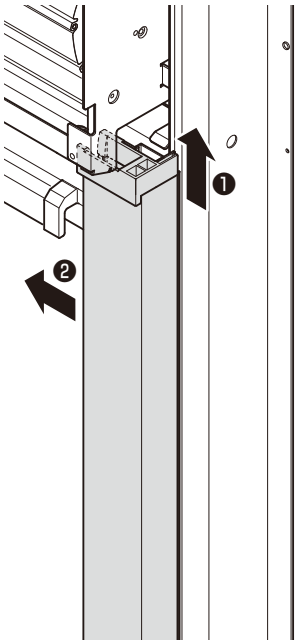
2ガイドレールの取外し

①シャッターを全開にします。
②Ⓑトラスタッピンねじをすべて外します。
③ガイドレールをシャッター本体に当たるまで垂直に持ち上げ(❶)、その状態のまま❷方向へスライドさせます。
④③の状態のままガイドレールの上部を支点にして回転させるように枠から取外します。
⑤ガイドレールが下枠を乗り越えたら、ガイドレールを引き下げ幅木・スラットと分離します。

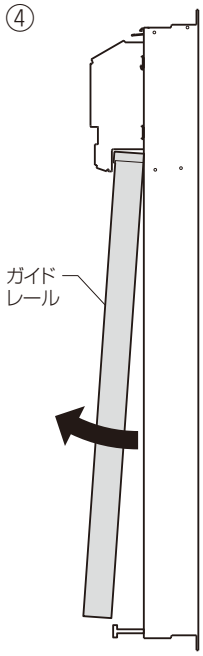
②



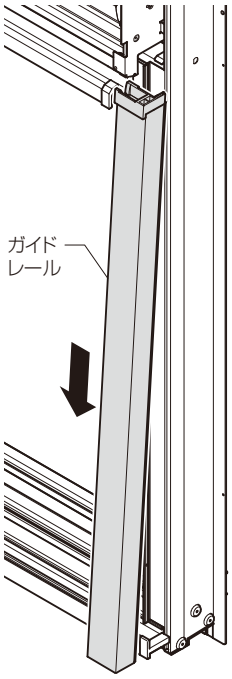
③



④



⑤

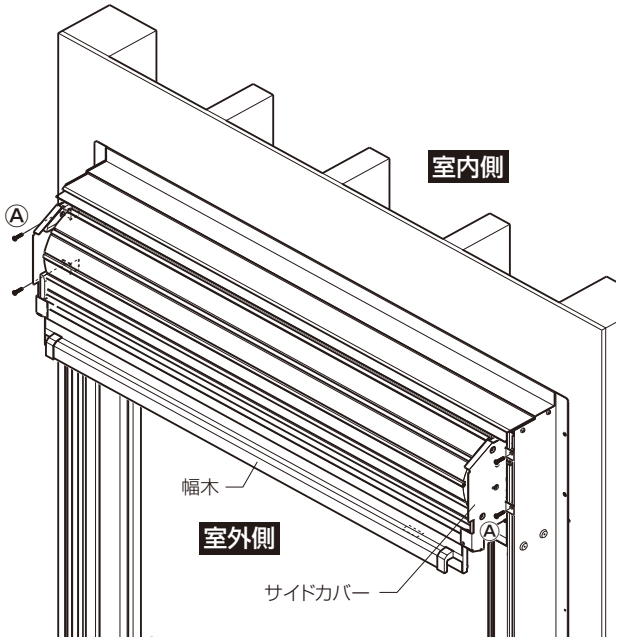


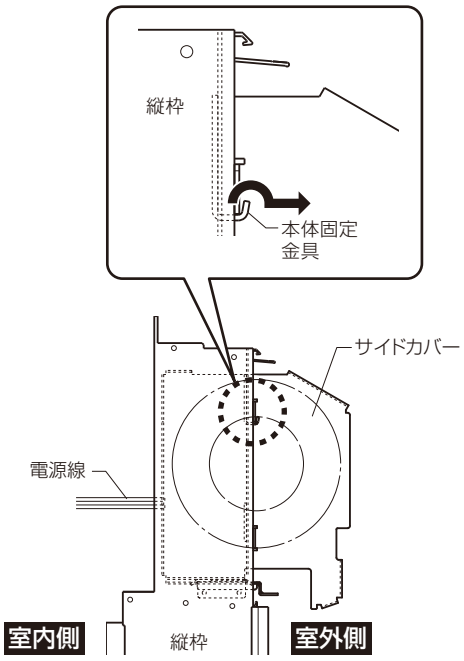
3シャッター本体の取外し

⚠注　意

●電動シャッターを取外す場合にはシャッターのブレーカーを切り、非通電状態で作業を行ってください。漏電、感電や火災のおそれがあります。

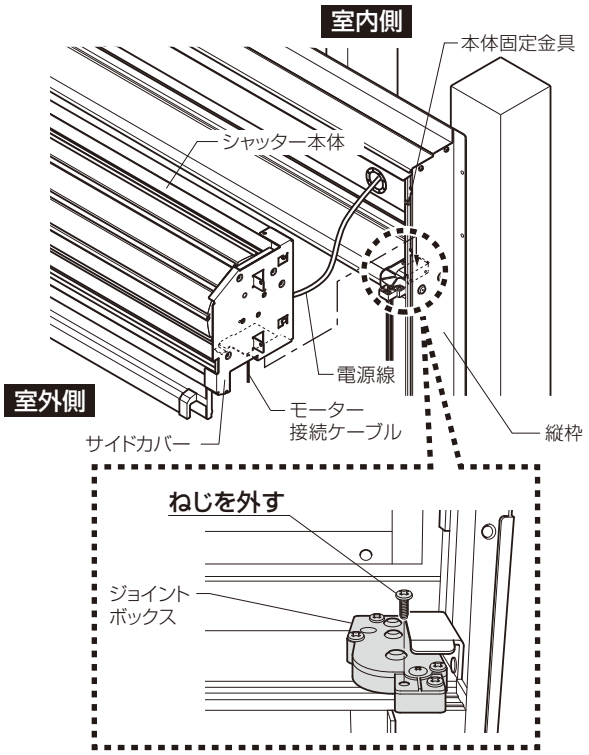
①縦枠に本体を固定しているⒶバインド小ねじをすべて外します。
②本体固定金具の引っ掛けを乗り越えながら本体を外します。
※電動シャッターの本体は電源線などが配線されています。取外しの邪魔になる場合には後の結線に必要な分を残して切断してください。





●イタリヤEZの場合

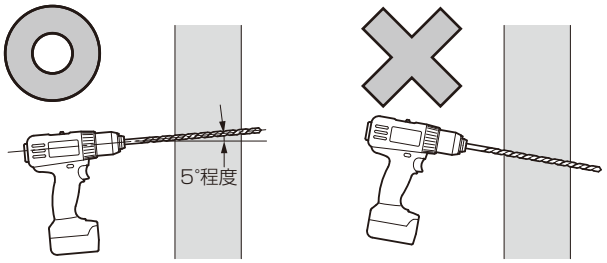
※取替前のシャッターがイタリヤEZの場合には上枠に下図のような部品(ジョイントボックス)が取付いています。シャッター本体とジョイントボックスをつないでいるモーター接続ケーブルは本体取外し時に一緒に取外してください。ジョイントボックスのねじとシャッター本体が干渉する場合がありますので、下図指示のねじを1本外してからシャッター本体を取付けしてください。外したねじは廃棄してください。
指定のねじ以外は取外さず、ジョイントボックスは上枠に残してください。



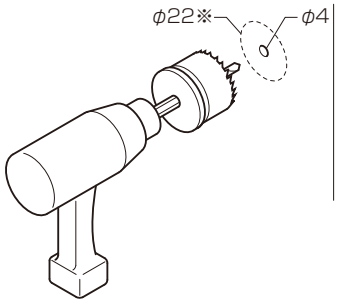
推奨の外壁穴あけ方法

※以下の作業工程では躯体内配線部品(有償品)を使用するためにφ22のホールソーを使用しています。現場の状況に合わせたホールソーを選択してください。

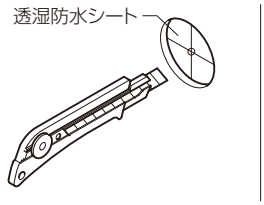
①穴あけ位置にφ4程度の長いドリルで室外側から位置決めの貫通穴をあけます。
※ドリル穴は外から下向きにならないように注意してください。(上向きは5°程度まで可)
※ドリルの長さが足りない場合は透湿防水シートまで穴をあけてください。



②①の穴位置にホールソー(φ22※)で室外側から外壁のみに穴をあけます。
※透湿防水シートを巻き込まないように注意してください。
※①で位置決めの穴を室内まで貫通させてない場合、外壁にφ22の穴があいた段階でドリルを延長し、透湿防水シートの穴を目印に室内側まで位置決めの穴を貫通させてください。

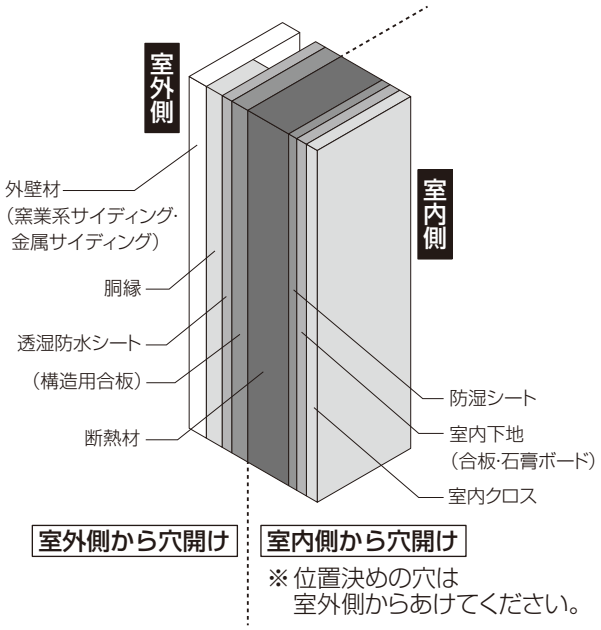


③構造用合板が無い場合には、透湿防水シートにカッターで十字に切れ目を入れます。



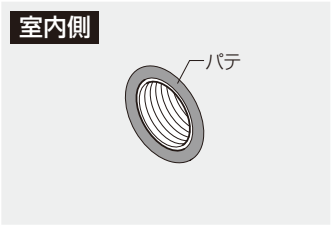
④構造用合板がある場合には、細い穴を目印に透湿防水シートごと造用合板にホールソー(φ22※)で穴をあけます。
⑤室内側に移動し、室内側から細い穴を目印にしてホールソー(φ22※)で室内クロス、室内下地に穴をあけます。
⑥防湿シートや断熱材の包装などにカッターで切れ目を入れ、断熱材を露出させます。
⑦PF管等を通すために断熱材を棒などで避けておきます。
※断熱材が発泡ウレタン等で硬い場合はホールソー(φ22※)で穴をあけます。

●一般的な壁の構造(木造)

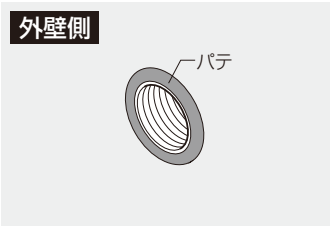


躯体内配線部品（有償品）の使用方法

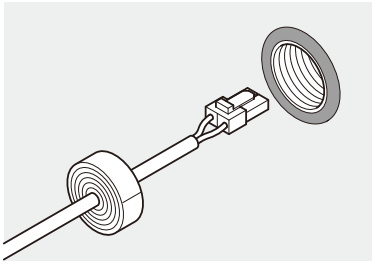
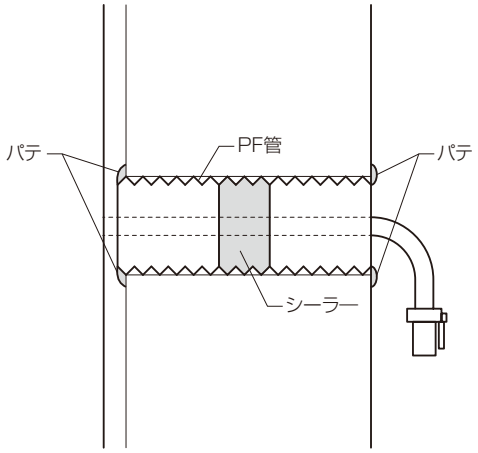
①内径φ14のPF管を壁の厚さよりも少し長めにカットし、φ22であけた穴(P.13参照)に室内側からクロスと面一の位置まで押し込みます。
※PF管とクロスのすき間はパテ等で塞いでください。



②外壁側の飛び出した部分のPF管はカットしておきます。
※シャッター本体と干渉するため、PF管の飛び出しは2mm以内としてください。
※PF管と外壁のすき間はパテ等で塞いでください。



③躯体内配線部品同梱のシーラーは本体から出ている電源線に巻きつけて、本体施工時にPF管の中に押し込んでください。



※シーラーは必ずPF管の中で下図のように配置されるようにしてください。
漏水、漏気の原因になります。